

経営比較分析表

青森県 階上町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 |
|--------------------------------|-------------|--------|--------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 漁業集落排水 | H2 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) |
| - | 該当数値なし | 5.68 | 88.56 |
| 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | | | |
| 2,948 | | | |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 14,062 | 94.01 | 149.58 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 795 | 1.17 | 679.49 |

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



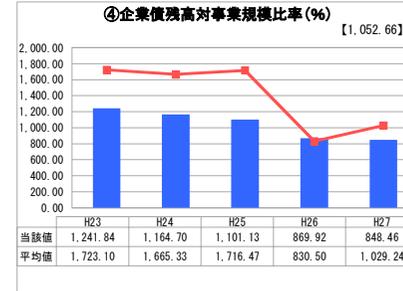
「単年度の収支」



「累積欠損」



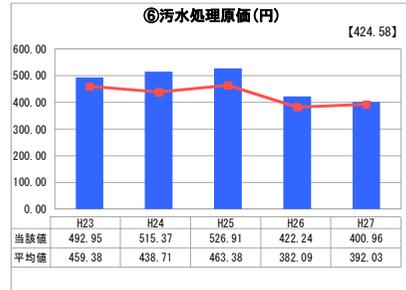
「支払能力」



「債務残高」



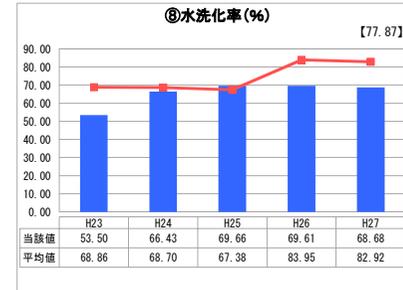
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

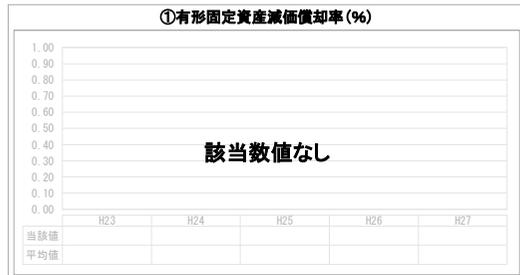


「施設の効率性」

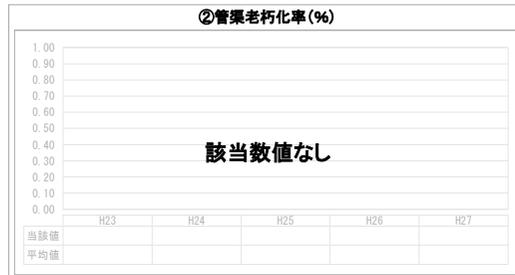


「使用料対象の捕捉」

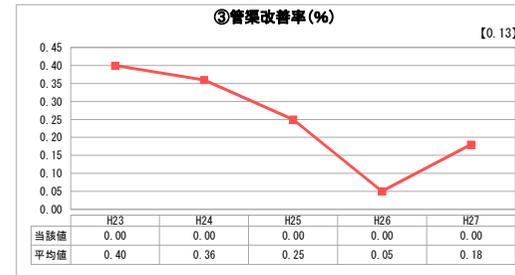
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率は、継続的に100%未満で赤字経営となっている。
- ・類似団体と比較して、経費回収率は4.25%引、施設利用率は3.92%引、水洗化率は14.24%引、いずれも低い状況である。
- ・事業が完了しているため、今後大幅な接続増は見込めない状況である。適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ・東日本大震災の被害を受け、機械設備の入替えを行ったが、大規模な更新はしていない。
- ・将来的に、耐用年数に達し改築や更新に対応するため、整備計画の見直しを行う必要がある。

全体総括

- ・漁業集落排水事業においては、概ね類似団体に近い経営であるといえる。
- ・施設等の管理台帳の整備をし、必要に応じて更新していく。
- ・使用料収入の確保が難しくなっていることから、適正な料金水準の検討を行い健全な事業経営を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。